



あなたと鉄道写真2020 (2)



2020038



出品者名：重富 純一様
住 所：埼玉県越谷市
タイトル：ariake.jpg
撮影年月：1984年11月
撮影場所：博多駅

●写真に関する思い出・エピソード

九州の親の実家に帰省するときは、博多までは新幹線。もちろん0系のひかりです。そして特急に乗り換えるという、子どもだった僕には大冒険の鉄道旅でした。好きが長じて鉄道会社で働く今も、あの頃の鉄道に対するあこがれを忘れないよう、今の子どもたちにも夢を持ってもらえるような仕事を目指しています。

2020039



出品者名：金子 和俊様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：8603佐倉機関区
撮影年月：1986年3月
撮影場所：佐倉機関区

●写真に関する思い出、エピソード：

中学入学と同時に千葉県佐倉市に引っ越しした鉄道ファンの友人宅に遊びに行った際に、国鉄佐倉駅に隣接している佐倉機関区で撮影しました。機関区には確か自由に入出入りできたような…今はもうない場所での思い出の一枚です。

202040



出品者名：金子 和俊様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：8708会津高原駅
撮影年月：1987年 8 月
撮影場所：野岩鉄道・会津鉄道 会津高原駅（現：会津高原尾瀬口駅）

●写真に関する思い出、エピソード：
夏休みの家族旅行で立ち寄りしました。前年に野岩鉄道が開業し、この年の7月にJR会津線が会津鉄道となり、開業ムードで駅も賑わっています。
自家用車での旅行でしたが、無理を言って、父に車で先回りしてもらい、母と妹と一緒に湯野上温泉駅まで会津鉄道に乗った記憶があります。

202041



出品者名：金子 和俊様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：0001小国駅
撮影年月：2000年 1 月
撮影場所：JR東日本米坂線 小国駅

●写真に関する思い出、エピソード
正月休みを利用して青春18きっぷで旅したときの一枚です。上野から東北本線を北上し、福島から米沢に出て、米坂線で坂町に出て、ムーンライトえちごで帰るというコースです。小国駅での列車交換待ちの際に撮影しました。旅情を感じる雪深い山間にある北国の駅でのひと時でした。

2020042



出品者名：金子 和俊様
住 所：神奈川県川崎市

タイトル：0005新府駅

撮影年月：2000年5月

撮影場所：JR東日本中央本線 新府駅

●写真に関する思い出、エピソード：

GWに新府桃源郷を散策し、帰りの電車待ちの間に今の妻と撮影しました。GWにも関わらず普通列車しか停まらない新府駅は他に誰もいない貸切状態でした。

丁度結婚する少し前ということで、「新婦」と「新府」をかけて、「しんぷ」の前で撮影してみました。

2020043



出品者名：金子 和俊様

住 所：神奈川県川崎市

タイトル：0009幾寅駅

撮影年月：2000年9月

撮影場所：JR北海道根室本線 幾寅駅

●写真に関する思い出、エピソード：

映画「鉄道員」を見た後に、ロケ地の幾寅駅を北海道旅行の際に訪れました。映画の中では「幌舞駅」だったと思います。映画でも使われた車両が「鉄道員号」として運行していましたので、そこから駅に降り立ったときの一コマです。

2020044



出品者名：栗原 岳様
住 所：神奈川県藤沢市
撮影年月：1979年8月

撮影場所：中津川駅 クハ85302車内

●写真に関する思い出、エピソード

小学校6年の夏休み、家族旅行は私のための希望で旧形国電が多数活躍していた飯田線沿線を訪れた。

更に、飯田から高速バスで中津川へ行き、当時、300番台以外の初期型80系が唯一残っていた中央西線にも乗車した。

私のお目当ては、旧1等車格下げのクハ85形に乗車する事だったが、85形が入っていない編成もあり、運次第だった。

そして、やってきた編成には幸運にもクハ85302が入っており、小躍りしたくなる程に感激した。写真は、旧1等車の深々としたシートに腰掛け、御満悦の表情の12才当時の私。

2020045



出品者名：栗原 岳様

住 所：神奈川県藤沢市

撮影年月：1980年7月

撮影場所：糸魚川市内 東洋活性白土専用線（2フィート
ゲージ） 2号機機関車

●写真に関する思い出、エピソード

中学校1年の夏休み、家族旅行は私のたっでの希望で旧形国電が多数活躍していた大糸線沿線を訪れた。

旧形国電以外にも、もう一つ目的があり、それは当時日本で唯一の実用用途蒸気機関車が活躍する、糸魚川の東洋活性白土専用線を訪れる事だった。

南小谷から大糸線の非電化区間に入り糸魚川まで、往路は運よく室内灯が白熱灯のまま残るキハ51形にも乗車出来た。東洋活性白土本社で見学の許可を得て構内に入ると、間もなく糸魚川駅方向から空の貨車を牽引する蒸気機関車が戻って来た。機関車は暫し休息するとの事だったので、お願いしてキャブに乗せて頂き、記念撮影をした。

この翌年からは、私は専ら1人で鉄道旅行に出かけるようになった為、結果的にこれが最後の家族旅行となった。

2020046

出品者名：栗原 岳様

住 所：神奈川県藤沢市

撮影年月：2001年5月

撮影場所：東海道線静岡付近走行中

臨時大垣夜行9372M

クハ165-182車内



●写真に関する思い出、エピソード

かつての国鉄急行形車両の車内は、ボックス席窓際に設置されたテーブルに「センヌキ」が設置されていた。しかし、缶やペットボトル飲料の台頭に伴い、王冠付き瓶入り飲料を車内に持ち込む乗客はほぼ皆無となり、センヌキは殆ど使用される事もなく、車両更新とともに取り外された車両も多く、その存在自体が殆ど忘れ去られていた。

東海道線の大垣夜行は、かつて飯田線に足しげくかよった頃、数えきれない程利用した列車だが、これも1996年3月の改正で373系を使用した「ムーンライトながら」に移行し、急行形車両は使用されなくなった。しかし、多客期に増発される臨時大垣夜行9375M・9372Mには依然として165・167・169系が使用され、かつての夜汽車の雰囲気を楽しむ事が出来た。

田町電車区所属の車両と神領電車区所属の車両を交互に使用していたが、センヌキが残存するのは神領区の一部の車両に限られていた。

そして、神領区の車両は2001年5月の連休に運行された同列車限りで、ついに現役を退く事になった。その最終運行で、運よくセンヌキが残存するクハ165-182が充当されたので、急行形ファン仲間10名程が集まり、センヌキを使用して瓶ビールの蓋を開け、165系を労う催しを開催した。

運行最終日となった大垣発5月5日の9372Mに、クーラーボックスに入れた瓶ビールと、これもかつて真夜中の静岡駅で大垣夜行停車中に販売されていた東海軒の幕の内弁当を持ち込んで、静岡駅停車時にビールの栓を抜き、皆で乾杯した。

あれから19年、もう、このようなボックスシートの夜汽車でこういった体験をする事は、ほぼ不可能になってしまった。

2020048



出品者名：野村 成章様
住 所：富山県黒部市
撮影年月：2016年10月12日
撮影場所：富山県立山町にある立山砂防工事専用
軌道への体験乗車時の画像です。

●写真に関する思い出、エピソード
立山カゲラ工事用トロッコ列車への体験乗車に申し込む
こと5回目にしてようやく抽選に当たり乗ることが
できました(^^/
富山県内には別に黒部峡谷鉄道という観光トロッ
コ列車があり乗車賃を払えば乗れますが、こちら
は無料だけれどなかなか乗ることができない貴重
なトロッコ列車です！

2020053



出品者名：野村 成章様
住 所：富山県黒部市
撮影年月：2015年6月13日
撮影場所：のと鉄道
●写真に関する思い出、エピソード
のと鉄道の観光列車「のと里山里海号」に乗車した時
の画像です。
穴水発の「のと里山里海2号」で、当日団体さん予約が
キャンセルされて自分ら2人だけの乗客で貸し切り状態
でした(^;
妻とアテンダントさんらと並んでのショットです(^^/

2020049



フォトスキャン by Google フォト

出品者名：野地 洋様
住 所：埼玉県毛呂山町
撮影年月：昭和62年3月31日
撮影場所：旧筑波鉄道 筑波線 常陸北条駅

●写真に関する思い出・エピソード

今から、33年前。今は亡き筑波鉄道常陸北条駅で当時でも珍しくなっていた駅名標と共に撮影した一コマです。ちなみに、撮影日は昭和62年3月31日。きしくも同じ日国鉄と共に歴史の彼方に消えて行った筑波線での一コマでした。

2020050



出品者名：M.Y様
住 所：新潟県新潟市
タイトル：海里 初乗車
撮影年月：2019年11月
撮影場所：新潟駅

●写真に関する思い出、エピソード

「きらきらうえつ」の後継としてデビューした「海里」に初乗車した際の一コマです。

当時は糸魚川に在住していたので、一日かけて乗車しに行きました。

「きらきらうえつ」の引退と「海里」のデビューの時期に新潟にいたこと、

笹川流れを見ながら、鶴岡で加茂水族館へ行ったことが思い出です。

2020051



出品者名：M. Y様
住 所：新潟県新潟市
タイトル：ラストラン ありがとう
撮影年月：2019年12月
撮影場所：キハ47系 車内

●写真に関する思い出、エピソード

JR東日本新潟支社のHPから知った企画でした。首都圏出身の私にとって、特急色や国鉄色と言われる列車は新鮮で同時に配色や形がかわいらしくお気に入りの列車でした。新潟へ来てから数回しか乗ることはできませんでしたが、貴重なラストランに立ち会えて思い出深い一枚です。

2020052



出品者名：春田 啓郎様
住 所：埼玉県川越市
撮影年月：2019年1月
撮影場所：由利高原鉄道鳥海山ろく線
前杉山トンネル内

●写真に関する思い出、エピソード

生後半年も経たない二人目の孫が真冬の秋田に来てくれました。まだなにもわからないでしょうが、爺じはおおはしゃぎで写真を撮りました。丁度生まれた頃から走り始めたおもちゃ列車に乗ってアテンダントのお姉さんに抱かれています。奥にいるのはまもなく3歳になる初孫の姉。

2020054



出品者名：峰村 勝子様

住 所：新潟県妙高市

撮影年月：2016年10月30日

撮影場所：筒石

●写真に関する思い出、エピソード

地下のホームから改札口まで、280の階段ありの、ご存知・筒石駅。一気登りを達成！ 歓喜！？のポーズ！！左は50代、右は70代の私。1年前、すでに一気登りを経験済みナノデス。ウフッ。駅から坂道を下り、ドラマなどで登場した漁師町を訪ねました。

2020055



出品者名：峰村 勝子様
住 所：新潟県妙高市
タイトル：中郷のみなさん
撮影年月：2016年10月30日
撮影場所：二本木駅

●写真に関する思い出、エピソード
上越市中郷区の皆さん、いつもは二本木駅で「雪月花」の乗客の皆さんを、おもてなし。
この日初めて「おもてなしされる」側に。
二本木駅スイッチバックで、普通電車と行き違うのを確認・・・撮りました！
ガラス窓越しに、弾けた嬉しそうな笑顔で、手を振ってくださいました！！

20200556



出品者名：峰村 勝子様
住 所：新潟県妙高市
タイトル：雪月花！！
撮影年月：2016年10月9日
撮影場所：妙高市蔵々の棚田

●写真に関する思い出、エピソード
長野市内の写真パネル屋さん、上越・妙高周辺の展覧会巡りをした日、「雪月花」のお見送りが出来て、最高の締め括りになりました。
ところで、私たちは「雪月花」の乗客の皆さんの写真にも収まっている・・・
ということですよ！？

2020058



出品者名 : 井上 美帆子様

住 所 : 奈良県生駒市

タイトル : しまかぜ

撮影年月 : 2017年 11月

撮影場所 : 近鉄鶴橋駅

●写真に関する思い出、エピソード

祖父母のお家から帰る途中、いつものように電車を待っていたところ、『しまかぜ』が停車しました。

子供にこっちを向いて、とカメラを向けましたが、初めて見る『しまかぜ』に大喜び。

電車好きな子供は、ピースはしてくれたもののカメラの方を向かずじっと見てる姿は今でも同じです。

2020059



出品者名：佐々木理恵様
住 所：愛知県長久手市
撮影年月：2007年5月12日

撮影場所：三重県 三岐鉄道沿線の貨物鉄道博物館

●写真に関する思い出、エピソード

歩けるようになった頃から、電車好きな息子です。
ミニカーをプレゼントしても、電車の方が大喜びで転がしていました。

今も存在する貨物鉄道博物館ですが、ここには、貨物がたくさん屋外展示されており、SLも静態保存されています。車で1時間ほどかかりますが、喜んで何度も行きました。前にはSL、後ろの線路には三岐鉄道の黄色い電車が通り、運がよければ茶色の貨物電車も見られます。

2020060



2020061



2020062



出品者名：高田 大輔様

住 所：東京都大田区

撮影年月：1989年3月頃

撮影場所：東急目蒲線（現：東急多摩川線）

鵜の木～沼部間

●写真に関する思い出、エピソード「保育園を卒園し、小学校に入る直前の春に線路沿いで父に撮影してもらった1枚です。保育園が線路沿いにあり、毎日のように見えていた目蒲線の緑の電車が引退するとあって、記念に撮ってもらいました。写真は3850系です。子供の頃から鉄道が好きで、今は鉄道会社で勤務しています。

2020063



出品者名：No railway,No life様

住 所：新潟県上越市

タイトル：北陸本線419系

～思い出の食パン電車～

撮影年月：2010年10月

撮影場所：直江津駅

●写真に関する思い出、エピソード

10年前、当時5歳のわが子を連れて直江津駅へ遊びに行ったときのこと。ちょうどホームには北陸本線419系が出発の時を待っていました。「なんか、面白い形だねえ。」とは、わが子より。その時、ふと自身の高校時代を思い出しました。「そうだねえ。これは食パン電車って言うんだ。実はこの電車、お父さんが高校時代に名立駅から通学でお世話になったんだ。そして、高校生のほかにも、魚屋のおばちゃんがお魚を入れた箱を背中にいっぱい背負って、直江津の三八市に魚を売りに乗っていたんだよ。」とわが子にボールを返していました。ちなみに、わが子もこの4月から高校生となり、電車通学を始めています。電車を通じて素敵な高校生活を送れることを願っています。

2020064



出品者名：嶋田 千恵様

住 所：埼玉県上尾市

撮影年月：2003年9月

撮影場所：函館本線車内 ニセコ～小樽区間のどこか

●写真に関する思い出、エピソード

中学時代からの親友と初めて北海道を旅行した時の写真です。ニセコで一泊した次の日、小樽に向かう途中で親友を撮った1枚です。2人ともお酒が大好きで毎晩のように酒盛りしていました（笑）今は全てが懐かしい思い出です。

彼女がお星様になってから12年が経ちました。

でも、心の中で彼女は今も生きています。

新型コロナ収束後は彼女を連れて、ローカル線の気ままな旅に出たいです。

2020065



出品者名：嶋田 千恵様
住 所：埼玉県上尾市
撮影年月：2018年11月
撮影場所：紀州鉄道 西御坊駅

●写真に関する思い出、エピソード
私が一番好きな車両（いすみ200〇型）と似た車両（KR205号車）が紀州鉄道で走っているということで、夫が和歌山に連れて行ってくれました。その時に撮ってもらった写真です。
一番良い顔をしていたと言われました。
実はこれは傷心旅行だったのですが、1年後には既に1児の母になっているよと言ったら驚くでしょうね。また近いうちに親子3人で行きたいです。

2020066



出品者名：嶋田 千恵様
住 所：埼玉県上尾市
撮影年月：2019年11月
撮影場所：さいたま新都心駅前 ふじ通り（自家用車内から撮影）

●写真に関する思い出、エピソード
娘は約2ヶ月の早産でした。県立小児医療センターでの約3ヶ月間の入院生活を終え、元気に退院した当日の写真です。車で出発した直後、さいたま新都心駅前を通りがかった際にタブレット端末のカメラで撮影したら貨物列車が収まっていた。これが娘が生まれて初めて列車と写った写真になります。残念ながら本人は夢の中でしたが・・・。けやきひろばへ散歩ができるようになったら、娘と一緒にこの貨物列車を見たいです。



出品者名：善光 孝様

住 所：富山県高岡市

タイトル：トロリーバス

撮影年月：2018年（平成30年）11月29日

撮影場所：長野県 大田市 扇沢駅構内

●写真に関する思い出、エピソード

訳の分からない謎の乗り物 トロリーバス・・・無軌条電車？。見た目バス・・・鉄道車両？レールがない・・・鉄道事業？バス乗り場・・・駅？ハンドルがある・・・架線電圧計？信号が青に・・・出発信号？普通の道を走る・・・鉄道敷？このバスは・・・この列車は？行き違い・・・列車交換？バスダイヤ・・・列車ダイヤ？大型二種免許・・・動力車操縦免許？バスマニア・・・鉄道マニア？二本のポールを誇らし気に上げ、たくさんのお客さんを運んだ謎多き乗り物。地上（明かり区間）を走る日本唯一のそれは、惜しまれながら廃止されました。そんな訳の分からない変な乗り物、私は好きでした。この乗り物の好きな人は“バス鉄”?? 今、トロバス一両が保存されます！

2020069



出品者名：H. O. 様

住 所：長野県長野市

タイトル：「とき号を引退した181系と私 石打駅」

撮影年月：昭和57年（1982年）11月

撮影場所：国鉄上越線 石打駅

●写真に関する思い出、エピソード

えちご“トキ”めき鉄道株式会社さんの鉄道写真募集ということで、写真を選定しました。

上越新幹線開業で、L特急とき号を引退したボンネット型181が、石打駅で休んでいると新潟の知人から電話があり、2人で訪問、駅の方にご理解いただき撮影しました。その際、お互いに記念写真を残しています。えちごトキめき鉄道区間でも、あさま、白鳥、はくたか号等で見られたボンネット型、今はその後継、国鉄非貫通型車も消滅寸前、自分の髪の毛の多さと共に、時の流れを実感します。ただ、“朱鷺”の繁殖は望外の喜びでした。

2020068



出品者名：青森 恒憲様

住 所：千葉県千葉市

撮影年月：2008年7月

撮影場所：JR鹿児島本線 熊本駅

●写真に関する思い出、エピソード

夏休みに家内の郷里、鹿児島への旅です。夫婦だけの頃は、いつも決まってブルートレインでの帰省でした。が、子供たちにとってはこの時が初体験。おとなしく乗ってられるのか少し不安でしたが、皆それなりに楽しんでいたようです。お姉ちゃんはこのキッカケに鉄道が好きになり、いつしか鉄道員を目指すようになって今春その夢を叶えました。

2020070



出品者名：青森 恒憲様
住 所：千葉県千葉市
撮影年月：2013年 1月
撮影場所：JR函館本線 函館駅

●写真に関する思い出、エピソード

お正月に津軽への旅。ふるさと行きの乗車券と寝台特急「あけぼの」のゴロンとシートでの節約計画でした。しかし、いきなり往路のあけぼのが荒天で運休。一時は中止も考えましたが、どうしても行きたいという子供たちの声に押されて「北斗星」で出発しました。乗車日のお昼頃なのに、ツインデラックスが連番で二室空いていたという奇跡にも恵まれました。節約どころかトンデモない出費に（笑）子供たちにとっては初めての北海道。経験したことのない寒さに興奮しています。町を少し見物した後、青森に向かいました。